

令和4年度第1回 消費生活意識調査

調査概要

1. 調査方法

インターネットを利用したアンケート調査

2. サンプル数

5,000 サンプル（人口構成比に応じた割付）

性年代

7段階の男女（15～19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上）

地域 地域区分は、次の単位とする。

北海道・東北：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県

甲信越：新潟県、山梨県、長野県

北陸：富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

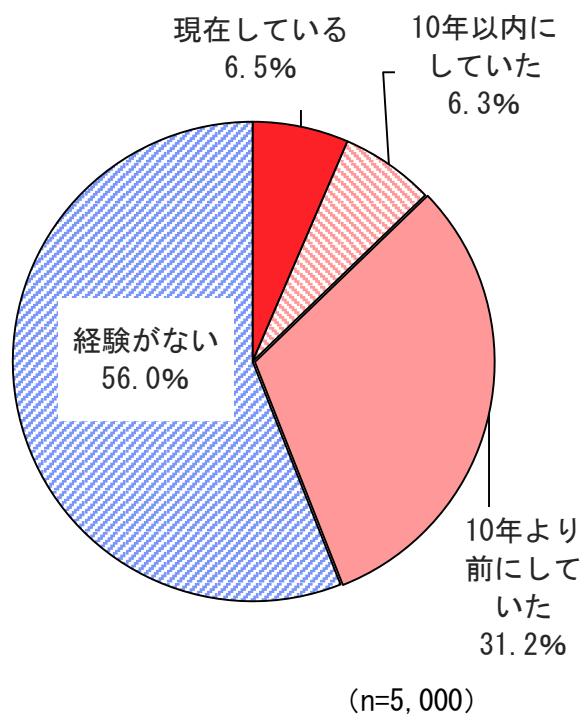
3. 調査実施期間

令和4年6月30日（木）～7月2日（土）

（備考）合計数値は、四捨五入の関係で、図表中の数値の合計と一致しない場合がある。

問1. あなたの乳幼児の育児（6歳までが対象。孫等自身の子供以外も含む。）の経験をお教えてください。（単一回答）

乳幼児の育児経験について、「経験がない（56.0%）」と回答した人の割合が高く、次いで「10年より前にしていた（31.2%）」となっている。「現在している（6.5%）」、「10年以内にしていた（6.3%）」が同程度の割合となっている。

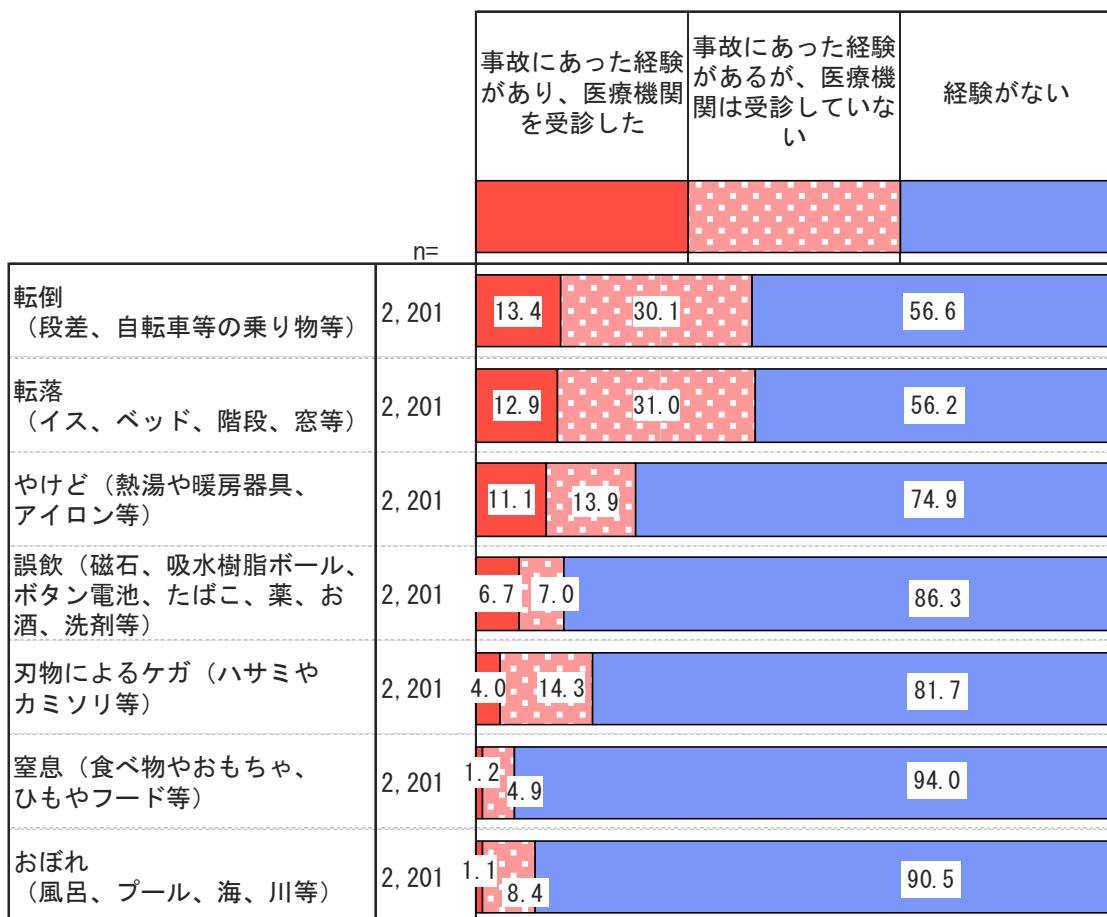


問2. 乳幼児（6歳まで）の育児中、以下の事故にあった経験はありますか。
事故にあった経験がある方は医療機関を受診したか否かもお答えください。
（単一回答）

乳幼児の育児中の事故として、「転落（43.8%）」、「転倒（43.4%）」を経験した割合が他の項目に比べて高くなっており、次いで「やけど（25.1%）」、「刃物によるケガ（18.3%）」となっている。

「誤飲」は経験した割合が13.7%と低いものの、経験した人の約半数が医療機関を受診したと回答している。

(%)



問3. 乳幼児（6歳まで）の育児中、以下のヒヤリハットの経験はありますか。
 ここでのヒヤリハットとは、事故には至らなかったもののヒヤリとしたりハ
 ッとしたりする場面があったことをいいます。（単一回答）

「転倒（56.2%）」、「転落（55.7%）」が他の項目と比べて「経験がある」と回
 答した人の割合が高く、問2（事故経験）の同様の結果となっている。次いで「や
 けど（30.6%）」、「刃物によるケガ（25.3%）」となっている。

(%)

		経験がある	経験がない
n=			
転倒 （段差、自転車等の乗り物等）	2,201	56.2	43.8
転落 （イス、ベッド、階段、窓等）	2,201	55.7	44.3
やけど（熱湯や暖房器具、 アイロン等）	2,201	30.6	69.4
刃物によるケガ（ハサミや カミソリ等）	2,201	25.3	74.7
誤飲（磁石、吸水樹脂ボール、 ボタン電池、たばこ、薬、お酒、 洗剤等）	2,201	23.3	76.7
おぼれ （風呂、プール、海、川等）	2,201	20.0	80.0
窒息（食べ物やおもちゃ、 ひもやフード等）	2,201	14.3	85.7

問4. 乳幼児（6歳まで）の転落事故の対策について知っているものがありますか。また、実践しているものがありますか。なお、カッコ内の年齢は目安です。（単一回答）

乳幼児の転落事故対策で、「実践している・していた」と回答した割合が高い項目は「ベビーベッドは常に柵を上げて使う（28.5%）」、「抱っこひもは緩みがないよう留め具を調整する（26.6%）」、「ベランダの柵や窓のそばに踏み台になるものを置かない（26.6%）」となっている。

一方で、「知らなかった」と回答した割合が高い項目は、「乳幼児2人を自転車の前後の席に乗せるときは、『後ろの席から乗せる』、『前の席から降ろす』の順番を守る（56.3%）」、「窓が大きく開かないよう補助錠を付ける（47.9%）」となっている。

(%)

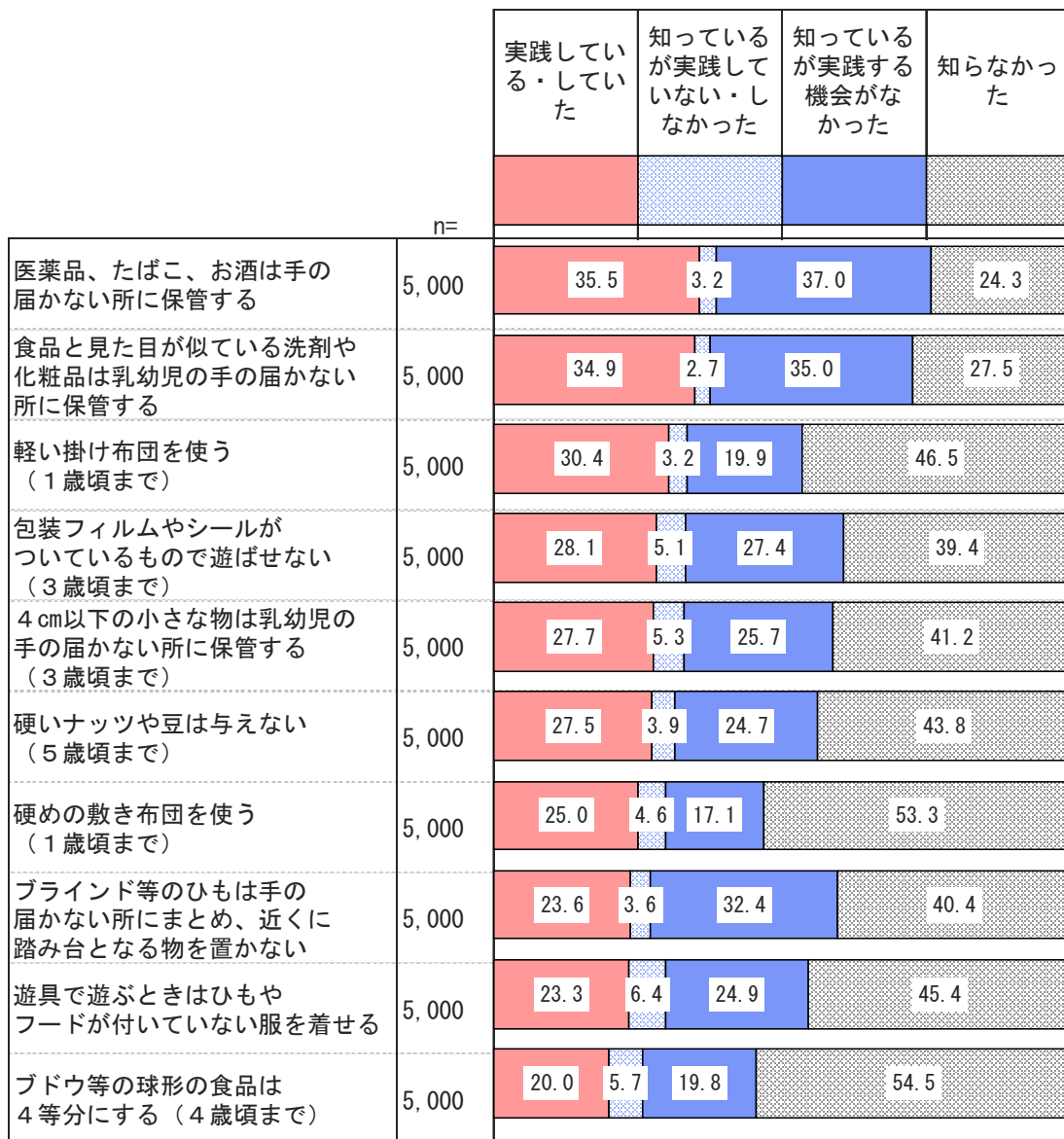
	n=	実践している・していた	知っているが実践していない・しなかった	知っているが実践する機会がなかった	知らなかった
ベビーベッドは常に柵を上げて使う（1歳頃まで）	5,000	28.5	2.4	28.1	41.0
抱っこひもは緩みがないよう留め具を調整する	5,000	26.6	3.1	29.6	40.6
ベランダの柵や窓のそばに踏み台になるものを置かない	5,000	26.6	4.2	35.7	33.5
遊具は対象年齢を守って遊ばせる	5,000	26.1	7.8	32.6	33.4
乳幼児用ハイチェアを使うときは安全ベルトを締める	5,000	23.2	5.6	27.5	43.7
ベビーカーのハンドルに重い荷物をぶら下げない	5,000	22.9	7.1	26.0	44.0
階段の前にはベビーゲートを設置する（2歳頃まで）	5,000	19.5	6.1	32.6	41.9
窓が大きく開かないよう補助錠を付ける	5,000	12.4	10.2	29.5	47.9
乳幼児を自転車に乗せる際はヘルメットを着用させる	5,000	12.2	6.9	43.1	37.7
乳幼児2人を自転車の前後の席に乗せるときは、「後ろの席から乗せる」、「前の席から降ろす」の順番を守る	5,000	12.0	3.9	27.9	56.3

問5. 乳幼児（6歳まで）の誤飲・窒息事故の対策について知っているものがありますか。また、実践しているものがありますか。なお、カッコ内の年齢は目安です。（単一回答）

乳幼児の誤飲・窒息事故対策で、「実践している・していた」と回答した割合が高い項目は「医薬品、たばこ、お酒は手の届かない所に保管する（35.5%）」、「食品と見た目が似ている洗剤や化粧品は乳幼児の手の届かない所に保管する（34.9%）」となっている。

一方で「知らなかった」と回答した割合が高い項目は、「ブドウ等の球形の食品は4等分にする（54.5%）」、「硬めの敷き布団を使う（53.3%）」となっている。

(%)



問6. 乳幼児（6歳まで）の溺水（おぼれ）事故の対策について知っているもの
 のはありますか。また、実践しているものありますか。（単一回答）

乳幼児の溺水（おぼれ）事故対策で、「実践している・していた」と回答した割合が高い項目は「プールやビニールプールでは目を離さない（35.3%）」、「入浴中、大人が洗髪する際は乳幼児を浴槽から出す（27.9%）」となっている。

一方で、「知らなかった」と回答した割合が高い項目は、「乳幼児が浴室に入らないよう外鍵やベビーゲートを設置する（47.0%）」、「入浴中、乳幼児から目や手を離す状況では浮き輪を使用しない（46.7%）」となっている。

(%)

		実践している・していた	知っているが実践していない・しなかった	知っているが実践する機会がなかった	知らなかった
	n=				
プールやビニールプールでは目を離さない	5,000	35.3	2.3	35.5	26.9
入浴中、大人が洗髪する際は乳幼児を浴槽から出す	5,000	27.9	4.7	27.9	39.5
入浴中、乳幼児から目や手を離す状況では浮き輪を使用しない	5,000	21.4	3.4	28.4	46.7
入浴後は浴槽の水を抜く	5,000	19.9	9.2	24.8	46.0
乳幼児が浴室に入らないよう外鍵やベビーゲートを設置する	5,000	16.1	9.4	27.4	47.0
海や川で遊ぶときはライフジャケットを着用させる	5,000	11.4	8.9	42.7	37.1

問7. その他の乳幼児（6歳まで）の事故の対策について知っているものがありますか。また、実践しているものがありますか。（単一回答）

乳幼児のその他の事故対策で、「実践している・していた」と回答した割合が高い項目は「ハサミ等の刃物を使用したらすぐに片付ける（38.0%）」、「歯ブラシやフォーク等を口に入れたまま歩き回らせない（35.6%）」となっている。

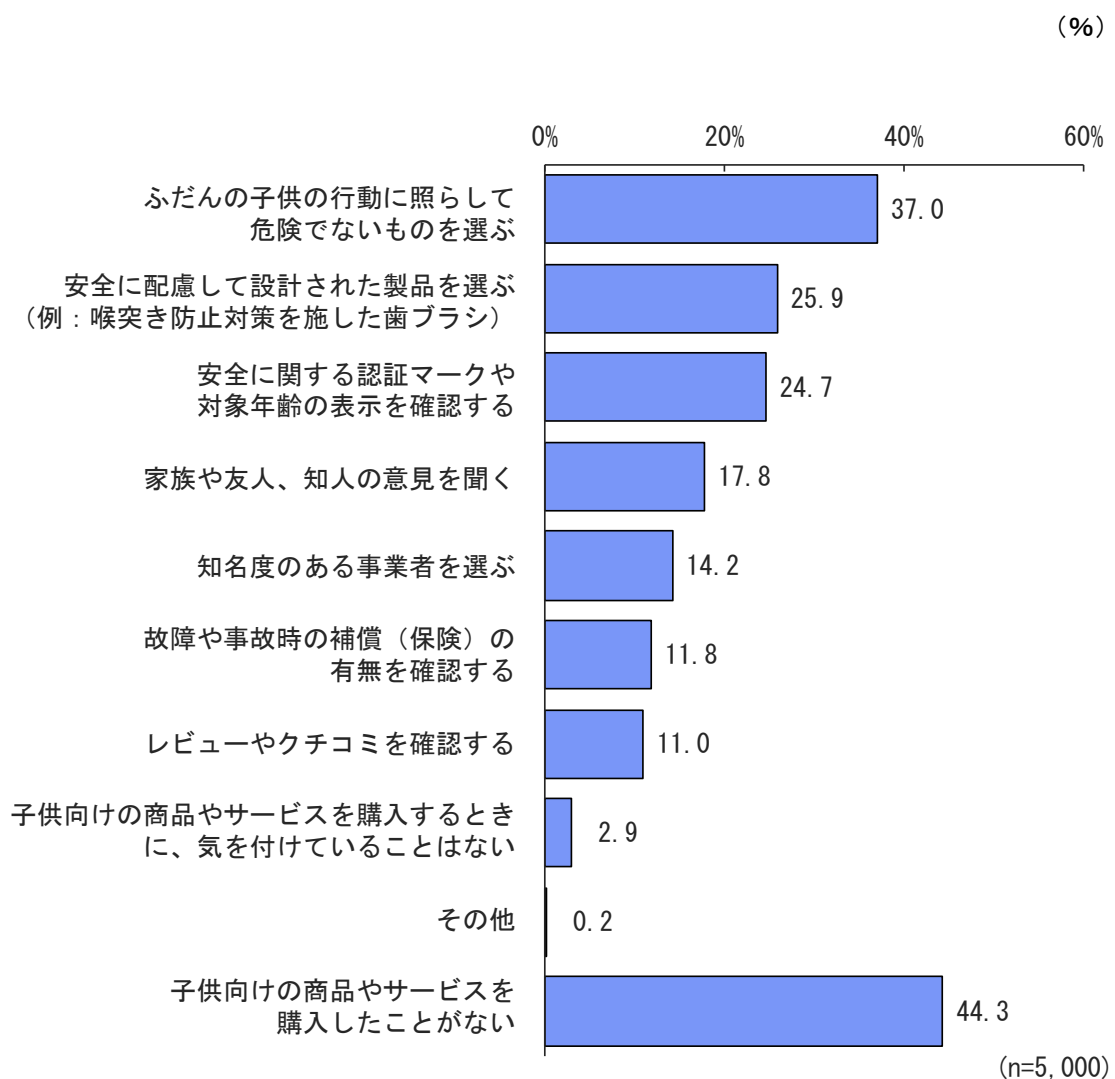
「知らなかった」と回答した割合が高い項目は「キッチンにはベビーゲートを設置する（40.6%）」、「ドラム式洗濯機は必ずふたを閉め、チャイルドロック機能を使う（39.6%）」となっている。

(%)

	n=	実践している・していた	知っているが実践していない・しなかった	知っているが実践する機会がなかった	知らなかった
ハサミ等の刃物を使用したらすぐに片付ける	5,000	38.0	2.4	36.4	23.2
歯ブラシやフォーク等を口に入れたまま歩き回らせない	5,000	35.6	3.0	33.9	27.6
短時間であっても車内を乳幼児だけにしない	5,000	35.2	3.2	36.2	25.4
家具や建具の角にクッションを付けたり、隙間カバーを付けたりする	5,000	28.5	7.6	33.2	30.7
床に置く暖房器具は乳幼児の手の届かないように安全柵等で囲む	5,000	27.4	5.7	35.1	31.8
ベビーカーでエスカレーターを利用しない	5,000	27.2	6.5	34.5	31.8
タンス等の重い家具は倒れないよう固定する	5,000	24.4	11.0	35.6	28.9
電気ケトルやポットは転倒時お湯が漏れにくい製品を選ぶ	5,000	23.6	5.8	34.1	36.5
キッチンにはベビーゲートを設置する（2歳頃まで）	5,000	18.4	10.4	30.6	40.6
ドラム式洗濯機は必ずふたを閉め、チャイルドロック機能を使う	5,000	14.9	5.2	40.3	39.6

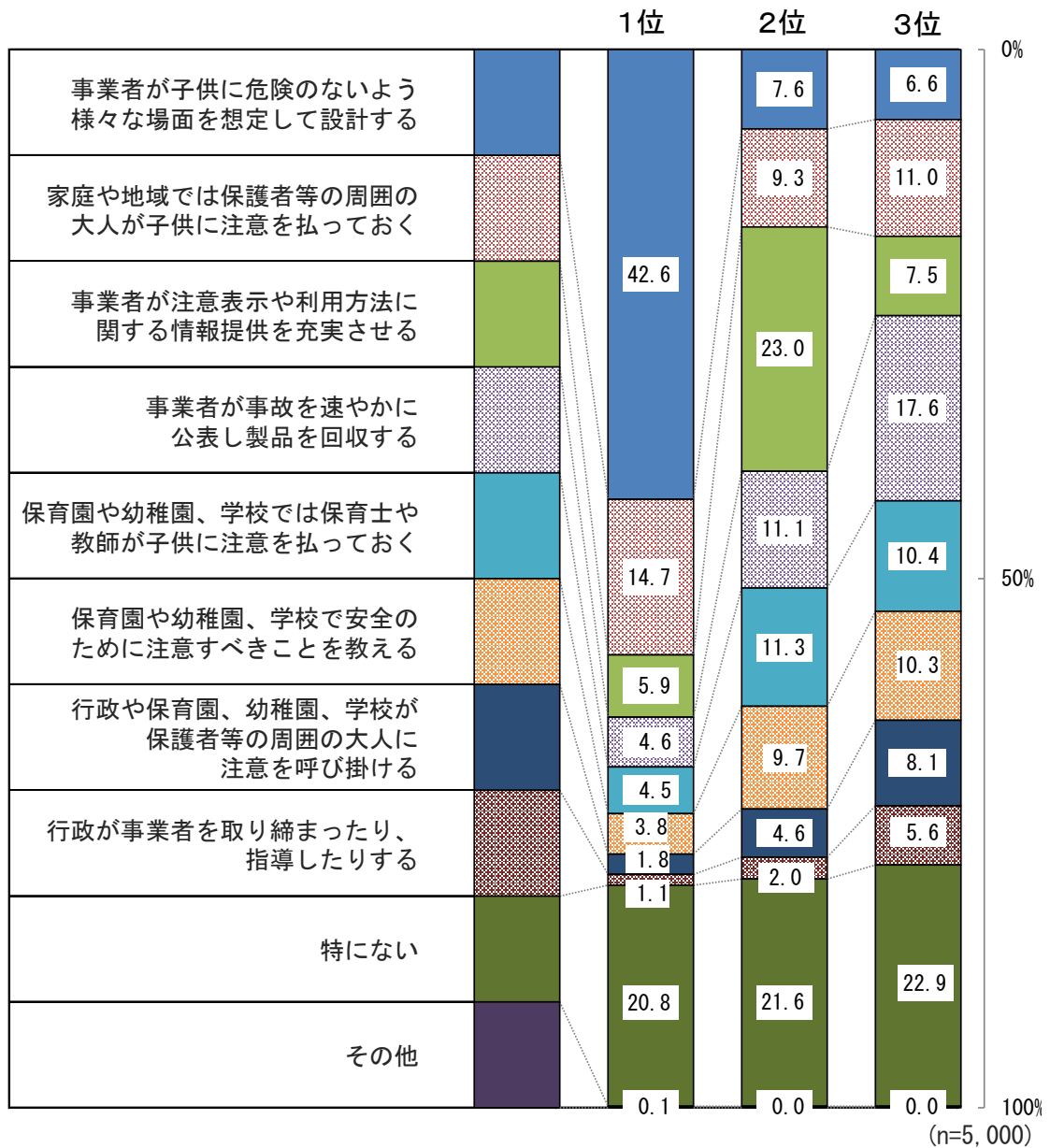
問8. 子供向け（14歳以下）の製品（食品を除く）やサービス（例えば保育サービスや娯楽サービス等）を購入する際、安全を確保するために気を付けていることはありますか。（複数回答）

子供向けの製品やサービスを購入する際に気を付けることとして、上位は「ふだんの子供の行動に照らして危険でないものを選ぶ（37.0%）」、「安全に配慮して設計された製品を選ぶ（25.9%）」、「安全に関する認証マークや対象年齢の表示を確認する（24.7%）」となっている。



問9. 子供（14歳以下）向けの製品（食品を除く）やサービスによる事故を防ぐため、どのような取組が必要だと思いますか。必要だと思う順に3つお答えください。（単一回答）

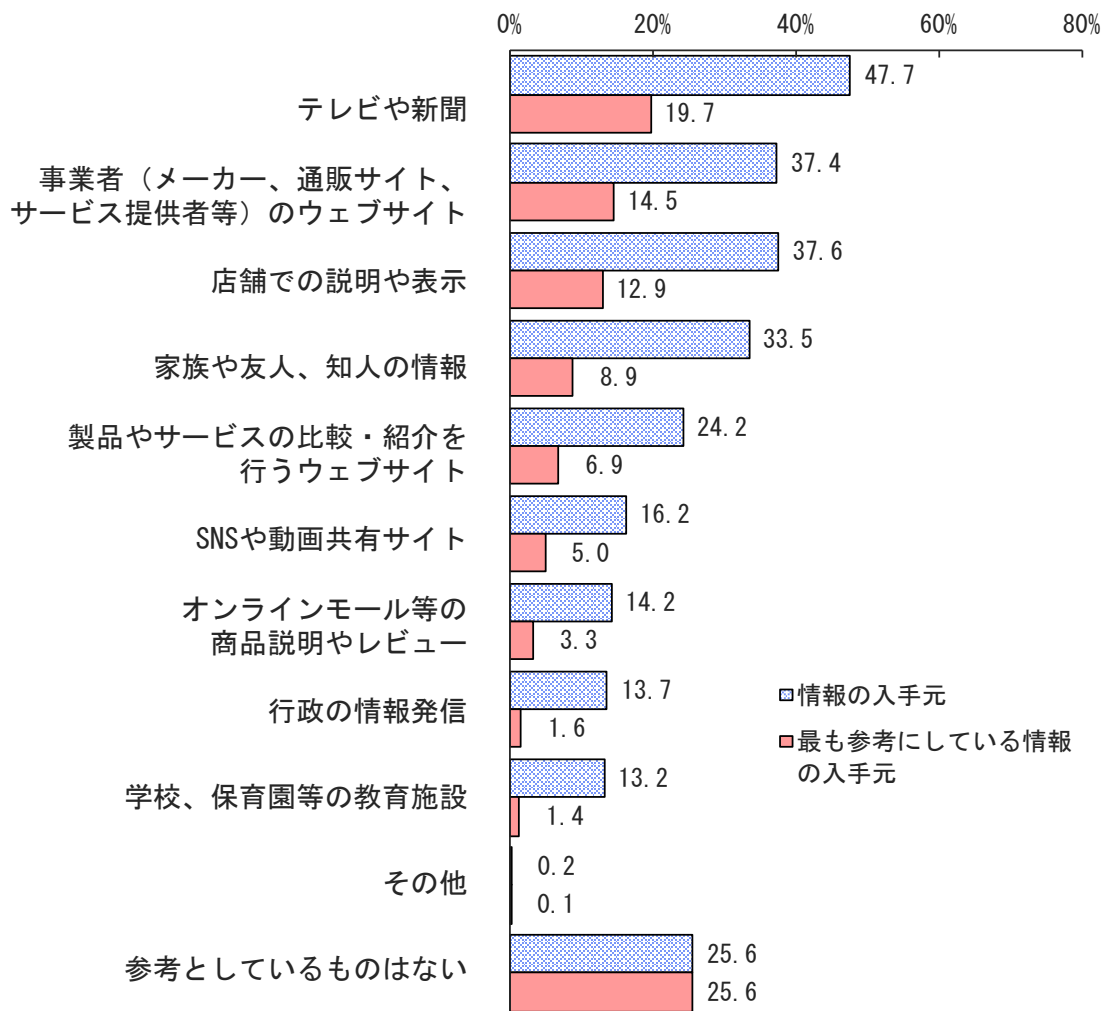
子供向けの製品やサービスによる事故を防ぐための取組で、必要と思うものの1位としては、「事業者が子供に危険のないよう様々な場面を想定して設計する（42.6%）」と回答した割合が他の項目に比べて高く、次いで「家庭や地域では保護者等の周囲の大人が子供に注意を払っておく（14.7%）」となっている。



問 10. 製品（食品を除く）やサービスの安全に関する情報はどこから得ていますか。また、最も参考になっている情報の入手元はどこですか。（複数回答）

製品やサービスの安全に関する情報の入手元として「テレビや新聞（47.7%）」と回答した人の割合が最も高く、次いで「店舗での説明や表示（37.6%）」、「事業者のウェブサイト（37.4%）」となっている。

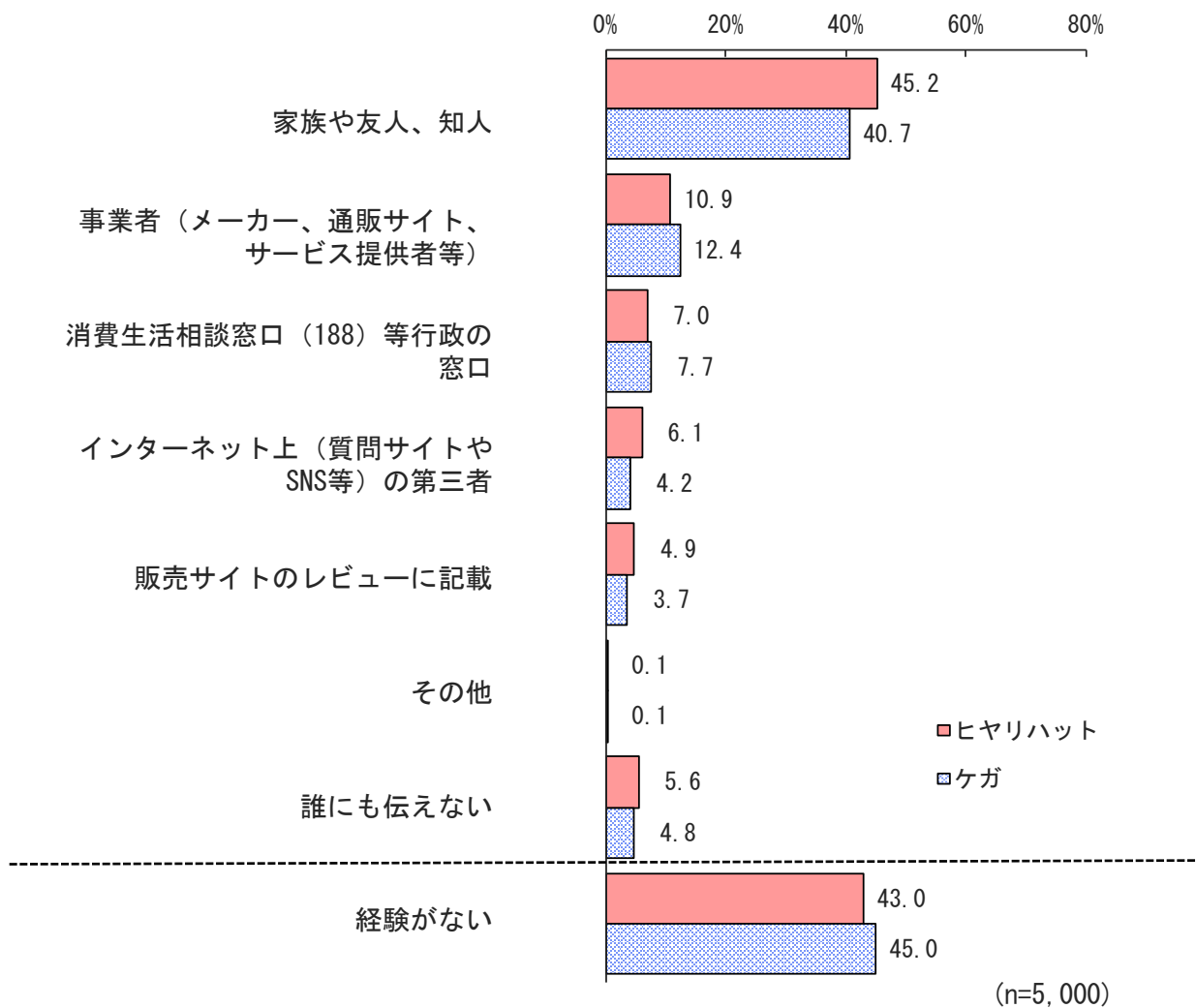
最も参考になっている情報の入手元は「テレビや新聞（19.7%）」、「事業者のウェブサイト（14.5%）」、「店舗での説明や表示（12.9%）」となっており、上記と同様の傾向がみられる。



(n=5,000)

問 11. 製品（食品を除く）やサービスに起因すると思われるヒヤリハットやケガ（中毒等の健康被害を含む）を経験したとき、そのことを誰に伝えますか。ここでのヒヤリハットとは、事故には至らなかったもののヒヤリとしたりハットしたりする場面があったことをいいます。医療機関で治療を受けることは除外してお答えください。（複数回答）

製品やサービスに起因するヒヤリハットやケガを経験したとき、伝える先として「家族や友人、知人」と回答した割合が最も高く、「ヒヤリハット(45.2%)」、「ケガ(40.7%)」となっている。次いで「事業者」と回答した割合が、「ヒヤリハット(10.9%)」、「ケガ(12.4%)」となっている。なお、「誰にも伝えない」と回答した割合は5%前後となっている。



問 12. 中古品の家電を購入する際、製品の安全を確保するために特に気を付けていることはありますか。なお、ここでは取引の安全（代金を払ったが送られてこない、違う商品が届いたなど）は除外して考えてください。（単一回答）

中古品の家電を購入する際に安全性を確保するために特に気を付けていることの上位は「写真や実物のいたみ具合（20.6%）」、「製造年（17.8%）」となっている。

